

ヨコハマ 3 R 夢プランの推進について

1 ヨコハマ 3 R 夢プランについて

ヨコハマ 3 R 夢プランでは、燃やすごみなどのごみ量に、古紙や缶・びんなどの資源の量を加えた「ごみと資源の総量」の削減を目標としており、基準年度である平成 21 年度に比べ、平成 25 年度に 3% 以上、平成 37 年度に 10% 以上削減を目標としています。

また、ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス排出量は、基準年度に比べ、平成 25 年度に 10% 以上、平成 37 年度に 50% 以上削減を目標としています。

2 ごみと資源の総量について

平成 24 年度の削減目標は、基準年度比 2.25% 以上削減としています。

4～12 月までのごみと資源の総量は約 97 万 9 千トンで、基準年度に比べ、約 3 千トン (0.3%) 削減しました。

表 1 平成24年 4～12月のごみと資源の総量 (速報値)

【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量 ^{※1}		ごみ量	資源化量 ^{※2}	
24年度	979,400	703,550	467,040	236,510	275,850	243,730	32,120
21年度差	▲ 3,084 (▲0.3%)	▲ 14,515 (▲2.0%)	▲ 5,912 (▲1.3%)	▲ 8,603 (▲3.5%)	11,431 (4.3%)	▲ 2,870 (▲1.2%)	14,301 (80.3%)
21年度 (基準年度)	982,484	718,065	472,952	245,113	264,419	246,600	17,819

※1 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と資源集団回収量の合計です。

※2 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみやせん定枝を資源化した量の合計です。

※ 平成24年度(速報値)は、10トン単位で示しています。

3 ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス排出量について

平成 24 年度の削減目標は、平成 23 年度と同様に 18% 以上削減としています。

4～12 月までの温室効果ガス排出量は 19 万 2 千トンで、基準年度に比べ、2 万 5 千トン (11.5%) 削減しました。

表 2 平成24年 4～12月の温室効果ガス排出量 (速報値)

【単位：万トン(CO₂換算)】

		温室効果ガス排出量
24年度		19.2
	21年度差	▲ 2.5 (▲11.5%)
21年度 (基準年度)		21.7